



考える子
やさしい子
たくましい子

角尾山

<https://www.city.nishiwaki.lg.jp/houtaelementaryschool/tayori/index.html>

小学校における性教育

小学校の6年間は、心身の発育・発達の変化の著しい時期です。また、二次性徴の現れや思春期への移行など、心身両面で子どもによって個人差がみられます。そのため、学年や一人一人の発育・発達段階を考慮しながら、以下の3つの領域について年間を通じて学び、心身の健全な成長をめざして性教育を行っています。

- ① 生命尊重（心身の発育・発達や健康）
- ② 人間関係の育成（自他を大切にすること、相手と人格を尊重し合うこと）
- ③ 家庭や社会の一員としてのあり方（家庭の役割、病気の予防などの学習から共に生きることの大切さ）

【2学期に実施した①生命尊重の学習】

- 1年生 お母さんのおなかの中にいる赤ちゃんの様子や誕生について
2年生 男女の体の違いや、「命のつながり」について
3年生 針であけた穴ほど小さい一つの卵と3億分の1の精子が出会う「命のはじまり」について
4年生 思春期にあらわれる大人への体の変化について、個人差があることについて

【3学期に実施予定の②人間関係の育成 ③家族や社会の一員としてのあり方の学習】

- 5年生 心の発達、悩みや不安への対処について
6年生 病気の予防（エイズ）について



～ 感想より ～（一部抜粋）

- お母さんのたまご、お父さんのたまごが赤ちゃんになることがわかりました。280日もお腹の中にいるなんて、大変だと思いました。生んでもらってうれしいなと思いました。（1年）
○男の子には赤ちゃんのものがあつて初めて知りました。女の子には、オチンチンがないのになんで、男の子にはオチンチンがあるのかふしぎです。男の子と女の子の違いがあつても仲良くします。（2年）
○たまごの大きさは、はじめはすごく小さいことがわかりました。（3年）
○個人差があるから、「あの子いいな。」ではなく、「自分もいつかそうなるのか。」と思うようにします。（4年）

（性教育部）

2月の行事予定

- | | |
|---------------------|--------------------------------|
| 2日（水）委員会活動 | 17日（木）里山体験（3年） |
| 3日（木）こども貯金 学年費集金 | チャレンジタイム（1～3年） |
| 里山体験（3年） | 西脇南中学校体験入学（6年）【中止】 |
| チャレンジタイム（1～3年） | 18日（金）芳田っ子ミーティング |
| 4日（金）朝会 | 22日（火）木曜の時間割 委員会活動 |
| 5日（土）登校日（弁当持参） | （1～3年 14:50 下校）（4～6年 15:45 下校） |
| 一斉下校 14:50 | 新入生体験入学（9:35～） |
| 7日（月）振替休業日 | 23日（水）天皇誕生日 |
| 10日（木）里山体験（3年）入学説明会 | 24日（木）火曜の時間割 |
| チャレンジタイム（1～3年） | （1～3年 14:50 下校）（4～6年 15:45 下校） |
| 11日（金）建国記念の日 | PTA委員会（19:00～） |
| 15日（火）児童会役員選挙 | 新地区委員・役員合同会議（19:30～） |
| | 25日（金）朝会 |
| | 28日（月）6年生出前授業（重春小学校） |

【リサイクルの御礼】

1月16日（日）のPTAリサイクル活動では、地域のみなさまやPTA会員のみなさまのご協力により、たくさんのリサイクル資源を回収することができました。寒い中、本当にありがとうございました。

★いずみ文庫寄贈の御礼★

今年度もいずみ寮のみなさまより「いずみ文庫」に本を寄贈していただきました。この取り組みは、32年も前から、毎年続けてくださっています。本当にありがとうございました。



2月 スクールカウンセラー来校日（原則13時～16時）〈予定〉…2/3（木）、2/15（火）

学校でのお子さんの様子について、ご家庭でのかかわり方などについて、お悩みや疑問の解決に向けたお手伝いをさせていただきます。小さなことでも結構です。どうぞお気軽にお越しください。 永浦

【3年生学級紹介】

充実した里山活動

本校の3年生は、総合的な学習の時間を中心に里山活動を行います。本年度も、子どもたちは、上級生から里山での活動の内容や、楽しかった思い出などを聞いており、4月からの活動に期待を膨らませていました。

里山での活動は5月から始まりました。グリーンサポーターの笹倉渉さんとの出会い、里山の看板作り、里山探検と、ワクワクするような活動ばかりでした。

6月からは、基地作りを始めました。自分たちで話し合いを進め、昨年度とは違う場所に基地作りをすることに決めました。基地に使う木を探したり、運んだり、汗をかきながら基地作りに励みました。完成した基地に座り、みんなでくつろいだことは、かけがえのない思い出になりました。しかし、せっかく作った基地が7月に続いた豪雨で崩れてしまいました。とても残念でした。基地は直さずそのままの姿にして、里山まつりに招待する芳田こども園の園児、1・2年生児童に見せることにしました。自然は、時には脅威になりうるということを学ぶ機会となりました。

2学期は里山まつりに向けて準備をしました。当日のゲームを考えたり、自然の素材を生かした素敵な景品を作ったりしました。準備を通して、招待する園児・児童を楽しませてあげようとする気持ちが強くなっていくことを感じました。

迎えた里山まつり当日。「あいさつを上手に言えるかな。」「ゲームの説明がきちんとできるかな。」という不安な様子や、緊張した様子が見られました。しかし、まつりが始まると元気よく子どもたちを案内する姿や、ゲームの運営をする姿が見られました。終わった後は充実した表情を浮かべていました。里山まつりを通して、人前で堂々と話をしたり、友達と協力したりする姿などが見られ、大きな成長を感じました。

3学期の里山活動も思い切り楽しみ、充実した活動にしていきます。



あの日を語り継ごう、そして未来へ～防災集会・防災学習～

右の言葉は27年前の阪神・淡路大震災で、犠牲になった人の追悼や復興を願って、神戸市中央区の「東遊園地」にともされ続けている「希望の灯り」の下に刻まれています。

あの日から街の景色は様変わりし、復興を遂げましたが、あの日の記憶と教訓を受け継ぎ、風化させないことが、今を生きる者の務めであり、災害への備えにつながります。

芳田小学校では本年度も地震を想定した避難訓練・防災集会・防災学習に取り組みました。児童の感想をいくつか紹介します。

・じしんがあってもあわてなくて、つくえの下にかくれます。本当にきてもできるようにしたいです。

・いつ地しんがおきるか分からないです。だからいろいろな場所でのひなんの仕方を知っておかないといけないと思いました。

・わたしたちがそなえているものは無だじゃないということが分かりました。もし、はん神あわ路大しんさいのような大地しんがおこっても、そなえをしていれば少しは安心できます。

・ぼくは、災害の学習のときは災害が起きているときのことをイメージしていたけど、災害が終わった後にも大変なことがあるということがわかりました。そして、災害が終わった時も他の人との助け合いが必要で、助け合いをすることで自分も相手も元気になることがわかりました。災害は、いつ起こるか分からないので、この勉強で覚えたことを意識して生活していきます。

各ご家庭でもぜひ、防災について話し合ってみてください。

一九九五年一月十七日午前五時四十六分
阪神淡路大震災
震災が奪ったもの
命 仕事 団楽 街並み 思い出…
たった一秒先が予知できない人間の限界…
震災が残してくれたもの
やさしさ 思いやり 絆 仲間
この灯りは
奪われた
すべてのいのちと
生き残った
わたしたちらの思いと



【避難訓練の様子】

第2弾「頑張っています!! 自主学习」

角尾山10月号でもお知らせしましたが、芳田小学校では自主学习に2年生以上（1年生は3学期から）で取り組み、全校生・全教職員で情報を共有できるようにしています。2学期には全校生にアンケートをとり、子どもたちが自主学习についてどのように考え、どのような思いをもって取り組んでいるのかを分析しました。

	はい (%)	いいえ (%)
2年	85.7	14.3
3年	85.7	14.3
4年	66.7	33.3
5年	29.4	70.6
6年	50.0	50.0

	はい (%)	いいえ (%)
2年	100	0
3年	85.7	14.3
4年	86.7	13.3
5年	100	0
6年	100	0

	ある (%)	ない (%)
2年	92.9	7.1
3年	100	0
4年	60	40
5年	82.4	17.6
6年	83.3	16.7

【自主学习は好きですか】

【自主学习は自分の役に立っていると思いますか】

【友だちの自主学习から学んだことはありますか】

上記の項目以外で質問にあった自主学习に取り組む理由では「復習のため」「できなかったことができるようになるため」が多かったです。芳田小学校の児童は、自主学习に対して意欲的に取り組めることばかりではないものの、自分の役には立っており、友達から学ぶことも多いと感じていることが分かります。またやる気の出る教師のコメントや自主学习の悩みなども明らかになりました。子どもたちがより意欲的に取り組めるよう今後も全校的に取り組んでいきます。各ご家庭でも、気づかれたことや疑問点などございましたら、いつでも担任や学校までご連絡ください。